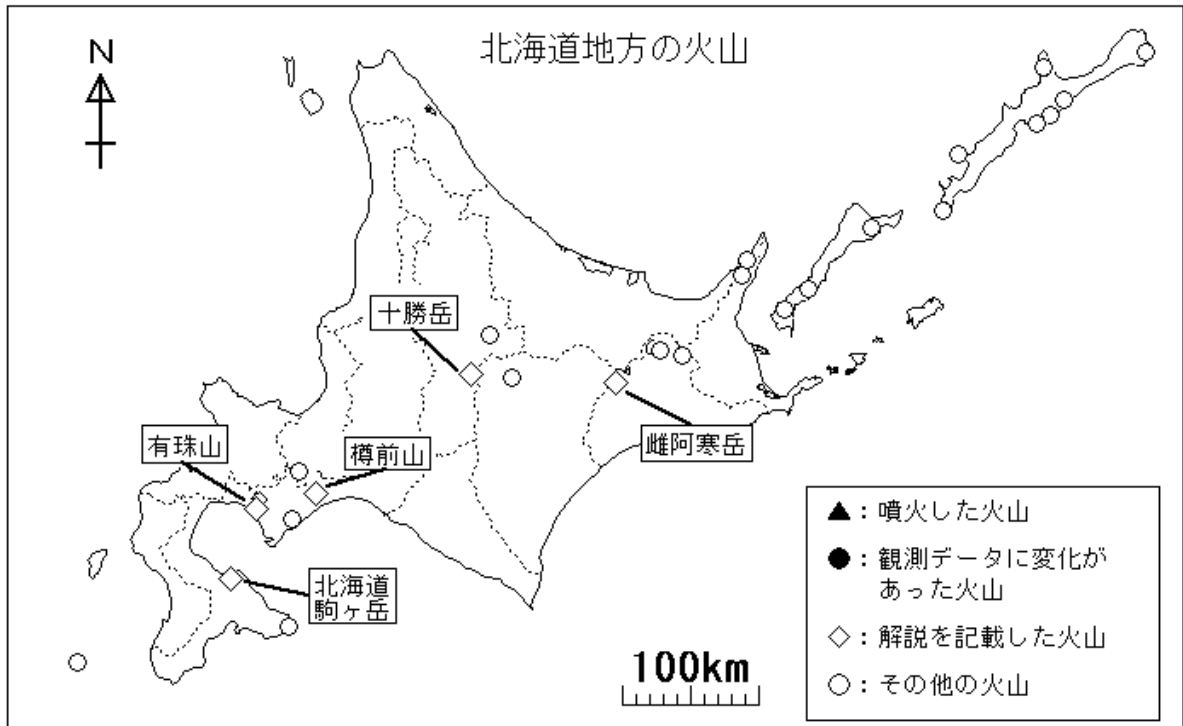


北海道地方の火山活動解説資料（平成 14 年 11 月）

札幌管区気象台 火山監視・情報センター



雌阿寒岳 : 観測データに大きな変化はなく静穏に経過しました。2000 年以降ポンマチネシリ 96-1 火口の熱的活動は低下する傾向が認められますが、時折地震活動が活発化することがあります。

十勝岳 : 62-2 火口は活発な噴煙活動が続くなど火山活動は高いレベルを維持しています。

樽前山 : 今期間、顕著な地震増加などはありませんでした。1996 年以降地震活動が活発化しており、A 火口をはじめドーム周辺では熱的活動が活発な状態となっていることから、火山活動の推移に注意が必要です。

有珠山 : 火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

北海道駒ヶ岳 : 地震増加や火山性微動はなく静穏に経過しました。噴煙活動も弱く地殻変動にも特別な変化は認められません。しかし、今年 2 月以降山体のやや深いところを震源とする地震が時々発生していることから、火山活動の推移を注目する必要があります。

次の火山活動解説資料（平成 14 年 12 月分）は 1 月 7 日に公表します。
 （札幌管区気象台ホームページ <http://www.sapporo-jma.go.jp>）
 （気象庁ホームページ <http://jma.go.jp>）